



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2023.7.10 Vol.177

三蔵五訓

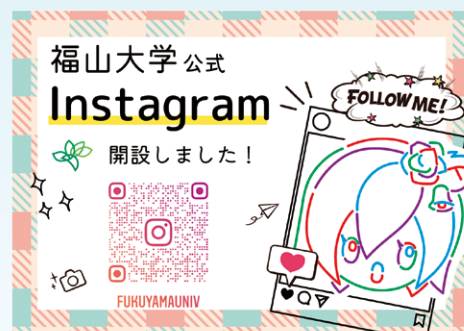
真理を探究し、道理を实践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



附属図書館／建築学科棟

揺るぎなく前進！

卒業生の就職状況及び充実した就職支援	1
新入生へのメッセージ	3
学内トピックス	5
研究活動	9
学内人事	11
財務状況	13
訃報	15
入学試験の概要	15



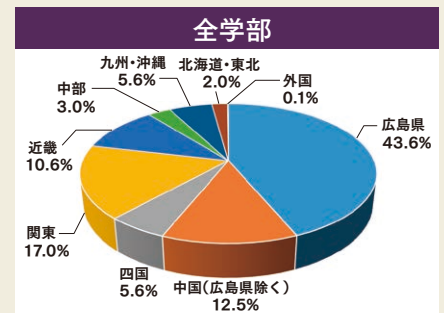
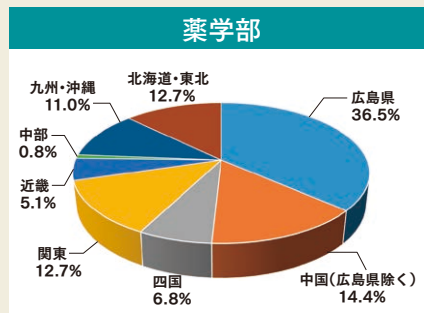
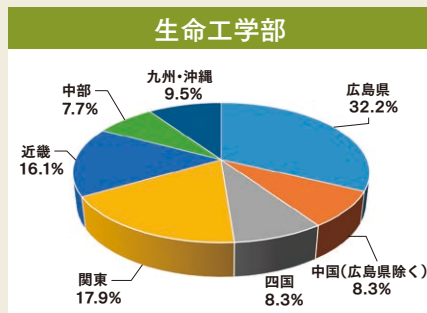
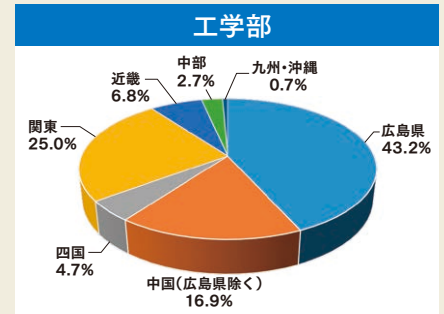
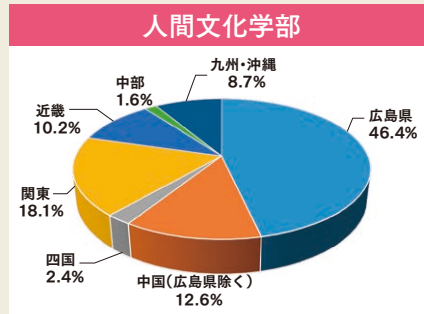
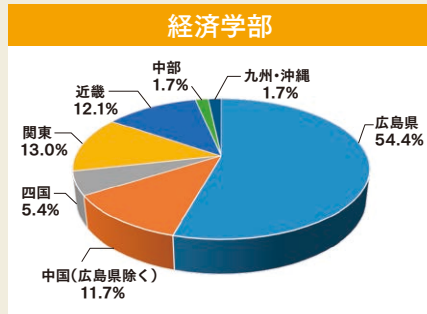
令和4年度の就職状況

令和4年度に福山大学が受付けた求人は2,991事業所からでした。就職情報サイトのWEB募集等を加えれば、例年通り安定した求人数を維持しています。また、令和4年度における卒業生の就職率は99.6%で、広島労働局が公表した県内大学生就職率の96.1%を大きく上回っています。また、文部科学省が公表した全国の大学の就職率は97.3%で、福山大学の就職率の高さが窺えます。

福山大学において就職を希望する学生の就職率はほぼ100%で、この状況は過去10年間続いています。

令和4年度卒業生の地域別進路状況は、広島県を中心とした中国地方が最も多く、続いて関東、近畿、四国、九州・沖縄、中部、北海道の順になっています。各学部・全学部の状況は、下記のとおりです。

令和3年度 地域別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

本学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に各学部・学科から選出された就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています(令和4年度実績)。

国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有の職員が行う就職相談や面接練習は、学生の希望する日時に随時対応しています。また、個別指導としては、学生が希望する職種・業種・企業名について進路希望票を提出させて、ゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえで適切な指導・支援を行っています。教職員が一丸となって、一人の学生に対し多方面から一貫性のある就職支援を可能にしています。

さらに、学生は学内ネットワークのWEB就職システムを利用し、大学で受付けた求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索が可能です。

また、就職活動においても説明会や面接をWEBまたは対面にするなど、目的や状況に合わせて使い分ける企業も増えてきました。そのため、本学においても、WEBでの就職活動に対応した様々なセミナーを実施し、さらに、これまで通りの対面や電話・メールでの相談だけでなく、WEBによる相談対応も実施しております。今後も、学生一人ひとりの気持ちに寄り添いながら就職支援を続けていきます。

令和4年度実績

1. 就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス:5月
これからの就活と自己分析
- 第2回就職ガイダンス:6月
業界研究・企業研究
- 第3回就職ガイダンス:後期
体験発表会
- 第4回就職ガイダンス:10月
就活の基本マナー
- 第5回就職ガイダンス:10月
面接対策
- 第7回就職ガイダンス:11月
働くこと、労働法について
- 第8回就職ガイダンス:11月
進路登録、仕事研究
- 第9回就職ガイダンス:1月
求人票の見方・企業選びの基準

第10回就職ガイダンス:1月
業界説明会事前準備の仕方

2. 就職試験等対策

- 就職模擬テスト (WEB)
- SPI講座 (WEB)(専門講師)
- 自己分析講座 (WEB、対面)
- 小論文・作文講座 (WEB、対面)
- 履歴書・エントリーシートの書き方 (WEB、対面)
- 身だしなみ講座 (対面)
- 履歴書・エントリーシートの添削 (WEB、対面)
- 面接(個人・集団)対策 (WEB、対面)
- グループディスカッション対策 (対面)

3. 学内合同企業説明会および業界説明会

- 9月 4年生対象 全国から125社参加
- 11月 3年生生命系学部対象 全国から20社参加
- 12月 3年生機電系学部対象 全国から22社参加

- 12月 3年生建築学科対象 全国から66社参加
- 2月 新4年生・留学生対象 全国から477社参加
- 3月 新4年生対象
広島県中小企業家同友会との合同10社参加

4. 企業個別説明会

本学学生のために企業を招き、個別の会社説明会を開催

5. 保証人との就職懇談会

- 4月・5月 地方会場(薬学部除く)
- 令和5年1月 本学会場(経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部)

6. 就活相談

- ・国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有職員による相談対応
- ・ジョブサポーターによる就職支援

卒業生のコメント

出羽 愛華 経済学部経済学科（令和5年3月卒業） 就職先：JA福山市



私が2年生の頃、新型コロナウイルス感染症のまん延により、キャンパスで学ぶ機会が奪われました。3年生では「コロナ禍でもできることを見つけ、学生のときにしかできない経験がしたい!」と思い、ゼミの仲間と様々な活動に取り組みしました。

オープンキャンパスでは学生スタッフとして、学科の紹介や大学生活について発表しました。また、福山市と提携を結んでいるソフトバンク株式会社主催の特別講義では「子ども・子育て」、日経STOCKリーグでは「買い物難民」をテーマに、地元福山市をより良い街にするためにデジタル技術を

用いて、自分たちなりの解決策を提案し、審査委員賞や地域共生特別賞を受賞しました。壁にぶつかり苦しいこともありましたが、諦めず仲間と協力しながら取り組んできたことが実を結んだのだと思います。

私は4月からJA福山市で働いています。ゼミや課外活動で培った力を活かして、地域に貢献し、常に挑戦を忘れずに自己成長して、お客様から頼られる人材になることが目標です。皆さんも大学でしかできない経験や出会いを大切にしてください!

根間 ひなた 人間文化学部人間文化学科（令和5年3月卒業） 就職先：株式会社ブプレひまわり



私が皆さんに伝えたいことは二つあります。

一つ目は、思い当たらずに挑戦することです。私が2年生になった年は、授業が遠隔で行われていました。自宅で過ごす時間が長かったこともあり、今のうちに資格の勉強をしようと考えました。難しそうで「辞めようかな」と最初は思いましたが、まずは挑戦しよう取り組み、MOSや日本化粧品検定、登録販売者などの資格を取得することができました。最初から無理だと思わず、すぐ行動に移すことが大切だと思った出来事でした。

二つ目は、友達に相談することです。就職活動にあたり、

私はストレスで辛い気持ちを抱えていました。しかし、友達に悩みを話したり、友達の状況を聞いたりすることで、自分だけが辛いわけではないと知り、ずいぶん救われました。これからの学生生活では、勉強や就職活動などで何度も壁にぶつかることがあると思います。そんな時は、同級生やゼミの仲間と励まし合い、相談しながら、課題を乗り越えてほしいと思います。

以上の二つのことを大切にして、充実した大学生活を送って下さい。皆さんのご活躍を応援しております。

大槻 昂平 工学部情報工学科（令和5年3月卒業） 就職先：ひろぎんITソリューションズ株式会社



私は、皆さんに常に広い視野を持つことを心がけてほしいと思います。私は4年生のとき経験したアルバイトは、常に丁寧な言葉遣いが求められ、お客様が困っていたらすぐに商品の説明をするなど、周りを観察して動かないといけないものでした。仕事に慣れてくると、周りを見る余裕が出てきて、お客様に褒められることも増えました。このスキルが社会でも活かしています。新入社員には、完璧にできる業務はまだありませんが、周りを常に観察することでできることがあります。最初はコピー機の紙を補充したり、たまったごみを捨てたりなどです。常に広い視野を持つことで、少しずつで

きることが増えていきます。

また、ITの分野においては、これから流行ると思われるたくさんの最先端の技術について先駆けて知ること、周りよりも先に一步を踏み出すことができるので、大きなチャンスにつながるかもしれません。

以上のことから、皆さんには、常に広い視野を持ち、自分の可能性を広げ、自分の将来に向かって、たくさんの選択肢の中から自分の好きな道を歩んでほしいと思います。

山西 健介 生命工学部生命栄養科学科（令和5年3月卒業） 就職先：社会福祉法人さんよう



私は恵まれた環境にいました。生命栄養科学科が、管理栄養士の資格取得をめざせる貴重な学科だったからです。栄養学は興味深く、楽しく勉強できました。臨地実習では管理栄養士として働く先輩方の姿を拝見し、現場業務を知ることができました。私が福祉施設で働きたいと思ったのも、その実習で管理栄養士業務に加えて介助なども手伝いながら人と関わりたいと感じたからでした。

今は入職したばかりですが、選んで良かった道だと思っています。採用理由に「前向きな気持ちとチャレンジ精神が見えたから」と言われたことを覚えています。管理栄養士と

して働きたのですが、次の目標も探しています。もっとできることを増やしたいと思っています。まだ成果も得られていませんが、自分のペースで頑張っていきます。

最後に、在学生の皆さんへ。今ある環境を当たり前と思わず、幸せと喜びと感謝を噛み締めながらいろいろなことを経験してください。その経験をおとして、自分のやりたいことや目標が見つかるはず。皆さんの学生生活が楽しいものになるよう、心から願っています。

古田口 愛 薬学部薬学科（令和5年3月卒業） 就職先：兵庫県立はりま姫路総合医療センター



薬学部3,4年生の皆さんは、自身の就職をどうしようかと考え、5年生の皆さんは、就職活動に足を踏み出している頃だと思います。

私は、5年次の病院実習を経て、チーム医療で必要とされ活躍している薬剤師の姿に憧れ、病院で働きたいという気持ちが強くなりました。就職活動をする上で、興味を持った病院には積極的に見学に行き、自分の目で確かめる事を大切にしていました。妥協せずに就職活動を行えたことで、就職してから勉強の毎日ですが、充実した日々を送ることができています。

薬学部の進路には、薬局やドラッグストア、病院など現場に立つだけでなく、大学院や製薬会社などがあり、同じ薬学部出身でも活躍の幅は様々です。大学で出会った友人たちからは、今でも刺激をもらっています。6年間の大学生活で多くの人、多くの企業と出会い、いろいろな価値観の人たちとの関わりのなかで、自分らしく働ける道を探してみてください。

6年生の皆さんは卒業研究、国家試験の勉強、就職活動など多忙な日々が続くと思いますが、大学生活で学んだ事は臨床で働く上で必ず強みになります。その強みを臨床へ還元できる薬剤師になれるよう、お互い頑張りましょう!!

新入生へのメッセージ

経済学部 幅広い選択肢のある大学で何を学ぶのか、皆さんが選択肢から選びます

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

わが国の新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類に変わり、2020年3月に設置された大学の危機対策本部も2023年5月11日に解散となりました。皆さんの先輩たち



を福山大学へ新入生として迎え入れる際に、新型コロナウイルス感染症に起因した公衆衛生上の制

約で、教務上やキャンパス生活上の諸活動の選択肢も限られました。我々教員側にとっても本意ではなかったことは言うまでもありません。今年入学の皆さんには、これらの制約を課すことなく本来のキャンパス活動を自由に行っていただけることについて、我々も本当に嬉しく思います。

アフターコロナの社会経済活動に目を転ずると、企業活動でもコロナ前と全く同じスタイルの対面出社に戻す企業もあれば、コロナで定着したリモートワークを継続する企業もあるなど、企業によっていろいろな選択肢をしているようです。どの選択肢が正解か、あるいはより効率的かといったことを考える際に経済学、経営学はとても役立ちます。幅広い選択肢のある大学で何を学ぶのか、皆さんが選択肢から選びます。

経済学部長 楠田 昭二

人間文化学部 五感を使って、歩き出そう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活には慣れてきたでしょうか。授業も始まり、いろいろなことに取り組んでくれていることと思います。

人間文化学部の3つの学科は、それぞれアプローチが異なりますが、「人間の営み」をターゲットにして教育、研究を展開しています。「人間の営み」…壮大ですが、私たち自身の普段の活動とも境界なくつながっています。〈よく知っている〉〈わかっている〉モノやコトにも、大学での学びが新しい光をあててくれるはずです。そこからあなた自身の五感を使って、あなた自身の世界を獲得していきましょう。

そしてそれには、〈外に出る〉ことも忘れてはいけません。人間文化学部のそれぞれの学科で、フィールドワーク、調査、実習、発表など、大学の外に出ての活動も多くなっています。ネットワークで全てが繋がった、手のひらのうえで完結する世界も大切ですが、足を運び、全身で触れるべき世界を、私

たちはまだたくさん持っています。教員だけでなく、先輩たちもきっとサポートしてくれます。歩き出しましょう！

メディア・映像学科長 安田 暁



工学部 「夢」に向かって一歩ずつ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症がなんとなく一段落し、大学に活気が戻り始めています。皆さんにとっては、これまでとは異なる“時間”、“空間”、“仲間”を実感する新生活がスタートしました。これを機会に自分の将来の「夢」を考えてみましょう。



「夢」は、職業でも、資格でも、技能・技術でも、体質改善でも、社会貢献でも、何でもよいです。

その「夢」という高い場所に一気に飛んでいくことはできません。いくつかの「目標」を達成するために「計画」を立て、地道に「実行」してやっと辿り着くことができるものだと思います。このように言葉で表すことは容易ですが、最後にあげた「実行」が最も難しいのです。多くの人がなかなか「実行」できず、「計画」どおりに進まないのが諦めかけてしまいます。しかし、諦めたら先はないので、“焦らず、急がず、休まず”に自分を信じて楽しみながら一歩ずつ前進しましょう。その楽しそうな姿を見た人たちが必ず手を差し伸べてくれ、道が開けるはずですよ。長いようでアッという間の4年間で充実したものになることを願います。

建築学科長 都祭 弘幸

生命工学部 どんな社会人を目指しますか

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

早いもので入学してからすでに3カ月経っていますが、キャンパスライフを順調に始めることはできましたか。高校までとは違う環境で大変なことも多いと思いますが、前期授業の終わりまであと少しです。定期試験を乗り越えたら夏休みになり、一息つくことができます。それまでもうひと頑張りしてください。

4月の入学式の日、たくさんの夢や目標を持って福山大学に入学したと思います。それをもう忘れてしまった人はいないと思いますが、新しい気づきやいくつものことがあったことでしょう。そんな皆さんに今お願いしたいのは、「大学を卒業したらどんな社会人になるのか」考えることです。「とにかく卒業して社会人になる」だけでなく、「資格を取って自立した社会人になる」「周りの人たちを幸せにできる社会人になる」「みんなに応援してもらえる社会人になる」といった、視線を少し上げた目標を考えてください。それが4年後のあなたを大きく変える力になります。

夢を信じて福山大学での大学生活を楽しんでください。

生命栄養科学科長 菊田 安至



薬学部 充実した6年間を過ごしましょう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

「薬学部は勉強が大変…」、皆さんの想像は間違っていない！基本的に毎日朝から夕方まで講義や実習が入っています。



講義はそれぞれに試験があり、成績が悪いと単位不認定となります。さらに、4年次には共用試験（OSCE、CBT）、そして薬剤師

国家試験と多くの難関が待っています。それらをクリアするためには、コツコツと地道に勉強することが大事です。試験前に勉強することは当然ですが、日々の復習を心がけてください。日頃から薬学部の随所で、夜遅くまで黙々と勉強している学生さんを見かけます。

ただ勉強ばかりではストレスもたまり、とても6年間持たないと思います。時には存分にストレス発散しましょう！大学には夏休みや春休みといった、社会人ではまず取得できない長期の休みがあります。この貴重な長期の休みを利用して、学生ならではの体験をしてほしいと思います。学生時代の体験は、将来も思い出として強く印象に残ります。

ストレスを発散したら、再び地道な勉強ですよ！この繰り返しが重要です！

薬学科 五郎丸 剛



2022年度社会人基礎力大賞と協賛企業団体賞のダブル受賞！

大学教育センター自分未来創造室の学生支援活動の一つで、学生の自主ゼミ(キャリアデザインゼミ)のチーム「REBORN」が、2022年度「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」全国決勝大会で、社会人基礎力大賞と協賛企業団体賞のダブル受賞を果たしました。このコンテストは、社会人基礎力の育成を目的とした大学の取り組みを評価し、優れた成果を上げたチームを表彰するもので、決勝大会には全国6地区から選ばれた1チームずつが出場します。福山大学のチームは、地域資源を活用したビジネスプラン「REBORN SAUNA」を発表し、過去に受賞経験を持つ強豪チームを抑えて、見事に栄誉に輝きました。

リーダーの藤本悠太さん(心理学科4年)は、「昨年度、全国大会に出場し、惜しくも破れてから、今年度の大会に向けて頑張ってきました。いただいた賞に恥じないよう、今後も社会人基礎力を伸ばしながら、地域に貢献していきたいです」と力強く語りました。メンバーの森山竜斗さん(メディア・映像学科4年)は、「私はメディア・映像学科での専門知識を活かし、ホームページの制作を担当しました。専門性を磨きながらも、多くの新しいことに挑戦できた経験は、学生時代にしかできないものだと思います」と振り返っています。井丸竜輝さん(経済学科4年)は、「長期間に及ぶプロジェクトで大変なことも多かったの

ですが、先生や仲間に支えてもらって大きく成長でき、結果もついてきた最高の一年でした」と、その喜びを語ってくれました。いずれのメンバーも、自分たちの専門性を磨きながら新しいことに挑戦する楽しさと、チームとして成果を出す充実感を感じていました。

キャリアデザインゼミの取り組みは、学部・学年を超えて自主的に集ったグループ活動であり、その特徴はそれぞれが専門性の異なる視点を持ち寄り、互いに協力して取り組むことが可能であることです。学問の枠を超えて広い視野を持つことの大切さを学び、専門とする分野以外の視点や知識を取り入れることで、個性溢れるアイデアを生み出し、新しい地域活性化のあり方を探求することを実践しているようです。それは、まさに未来創造館が掲げるコンセプト“CROSSING”な学びを体現したものと言えるでしょう。このような経験が、学生たちの将来の可能性を大きく広げ、彼らの成長へと大きく寄与することは間違いありません。

新年度を迎え、新たな仲間が加わったキャリアデザインゼミの学生達の新たな挑戦に、引き続き応援よろしく願いいたします。

大学教育センター 講師 前田 吉広



6 福山大学 藤本・森山・井丸 (自分)



第12回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを実施！

自然豊かな春のキャンパスの風景をテーマに、第12回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを開催いたしました。投票対象51作品についてセレッソ上で展示を行い、学生と教職員による投票審査により、各賞受賞者が決定いたしました。

最優秀賞に選ばれた撮影者のコメントには、「朝、コロネード:列柱の向こうに、扉を開いたように春が待っていました。今日は、もう一歩前に進めそうな気持ちになりました。」とあります。建物の

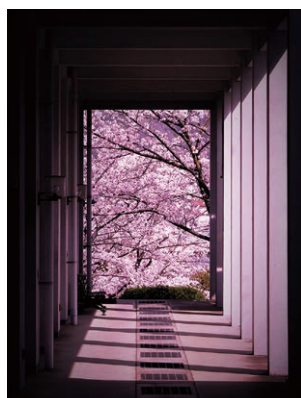
影と桜色が印象的なこちらの一枚が、「アニメのワンシーンのような綺麗さで、思わず見入ってしまった」、「光と影の塩梅が洒落ていて、版画作品みたいだ」などの感想とともに投票者からの圧倒的な支持を得ました。また、優秀賞には、本コンテスト初の入賞となる因島キャンパスの春の風景が選ばれました。

コンテストを通じてキャンパスの魅力を再発見するとともに、皆さんの心が和み、日常のささやかな喜びを共有できる

場となれば幸いです。

応募及び投票に参加くださった皆さん、コンテスト開催にご尽力いただきました関係部署の皆さんに、心より感謝申し上げます。

学生委員長 鶴崎 健一



最優秀賞「春ノトビラハサクラ色」
生命工学部生物工学科
山口 泰典 教授



優秀賞「しまかぜに顔上げて」
生命工学部海洋生物科学科 4 年生
八木 悠介 さん



さくら賞「桜輝く未来」
薬学部薬学科 4 年生
櫻井 優人 さん



さくら賞「桜色の光が舞う頃」
生命工学部生命栄養科学科 4 年生
大咲 絵鈴奈 さん

令和5年度 福山大学学生表彰について

令和5年度の学業成績優秀者については、下記のとおり42名の学生が表彰されました。
おめでとうございます。

学務部 学生課

令和5（2023）年度 学生表彰 一覧表

学長賞【学業部門】

学 部	学 科	学 年	氏 名
経済学部	経済学科	2 年	藤原 知哉
経済学部	国際経済学科	2 年	NGUYEN THU THUY
経済学部	税務会計学科	2 年	石部 優来
人間文化学部	人間文化学科	2 年	曾我部 美佳
人間文化学部	心理学科	2 年	藤原 千鶴
人間文化学部	メディア・映像学科	2 年	角 遥名
工学部	スマートシステム学科	2 年	小野 佳輝
工学部	建築学科	2 年	大土井 彪
工学部	情報工学科	2 年	大砂 佳樹
工学部	機械システム工学科	2 年	藤本 聖斗
生命工学部	生物工学科	2 年	大下 真碩
生命工学部	生命栄養科学科	2 年	児玉 琴実
生命工学部	海洋生物科学科	2 年	谷村 翔太
薬学部	薬学科	2 年	高橋 莉子
経済学部	経済学科	3 年	藤井 楓
経済学部	国際経済学科	3 年	横路 健伸
経済学部	税務会計学科	3 年	村上 映人
人間文化学部	人間文化学科	3 年	鈴木 あまね
人間文化学部	心理学科	3 年	池野 大登
人間文化学部	メディア・映像学科	3 年	河合 純聖
工学部	スマートシステム学科	3 年	羽田 拓未

学 部	学 科	学 年	氏 名
工学部	建築学科	3 年	阿部 素大
工学部	情報工学科	3 年	藤枝 幸平
工学部	機械システム工学科	3 年	高田 真伸
生命工学部	生物工学科	3 年	鳥越 秀美
生命工学部	海洋生物科学科	3 年	赤堀 そら
薬学部	薬学科	3 年	坂元 瑠璃
経済学部	経済学科	4 年	能網 崇博
経済学部	国際経済学科	4 年	杉原 生徳
経済学部	税務会計学科	4 年	清水 麻愛
人間文化学部	人間文化学科	4 年	山本 菜摘
人間文化学部	心理学科	4 年	久原 璃子
人間文化学部	メディア・映像学科	4 年	在間 千紘
工学部	スマートシステム学科	4 年	鳥谷部 峻史
工学部	建築学科	4 年	釘山 夏実
工学部	情報工学科	4 年	小山 惇之介
工学部	機械システム工学科	4 年	山田 純平
生命工学部	生物工学科	4 年	新谷 純玲
生命工学部	生命栄養科学科	4 年	石原 春河
生命工学部	海洋生物科学科	4 年	本多 知佳
薬学部	薬学科	4 年	古閑 翔太郎
薬学部	薬学科	5 年	枝 明日美

建築研究振興協会の優秀若手構造研究者表彰を受賞！

工学部建築学科4年生の五王 椋太さんが、一般社団法人建築研究振興協会の令和4年度優秀若手構造研究者表彰(コンクリート系)を受賞しました。

この優秀若手構造研究者表彰は、前述の協会が「建築構造分野(コンクリート系)における優れた研究成果を挙げた将来有望な学生、及び優れた研究業績を挙げた若手研究者を表彰し、建築構造分野の活性化を促す」ために、平成27(2015)年度から実施している若手研究者育成を目的とした賞です。

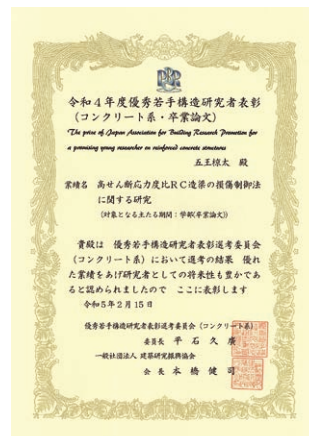
この表彰への募集は、全国の国公立および私立大学に発送・配信されますので、全国のコンクリート系構造研究室がライバルです。応募は学生作成の卒業論文と指導教員推薦書を送付するだけですが、審査委員会は、国立・私立大学、国立の建築研究所、大手建設会社などの建築分野におけるコンクリート系の著名な先端研究者で構成されているので、研究成果をゼミ生の論文で審査されることが心配でした。論文の体裁だけでなく研究指導の成果や研究内容の新規性が求められるからです。

この度、応募した卒業論文が受賞したことで、五王さんは辛いときもあったが取り組んで良かったと思い、私も指導した甲斐があったと安堵しました。

最後に、研究内容は科研費で実施したテーマで「高せん断応力度比RC造梁の損傷制御法に関する研究」です。地震国日本では、建築技術のなかでも構造は非常に重要な分野です。これからも大学の研究をとおして、優秀な技術者育成、研究

成果発表による技術公開などで社会への還元を果たしていきます。

建築学科 教授 都祭 弘幸



優秀若手構造研究者表彰賞状
(コンクリート系・卒業論文)



構造実験 破壊状況の比較 (左:工夫なし, 右:工夫あり)

心理学科2年生がビジネスコンテストで審査員特別賞を受賞！



心理学科とビジネスコンテスト。一見無縁のようですが、昨年行われたdodaキャンパス主催のビジネスコンテスト「キャリアゲートウェイ2022 SDGsをアプリで解決!」に心理学科の当時2年生である栗原 華さん(岡山県立倉敷古城池高等学校出身)が参加し、名誉ある「審査員特別賞」を受賞しました。

栗原さんは、コロナ禍で様々な制約があった1年間の学生生活を経て「2年生では何かに挑戦したい」という気持ちでこのコンテストにチャレンジしました。一人暮らしをしている友人がコロナに罹患した際に大変な思いをしたと聞き、すべての学生が安心して健康的に過ごせる環境づくりが大切だと考え、「オンライン診察アプリ」を提案することにしたそうです。ビジネスの知識が0の状態からアイデアを固めていく作業はとても大変だったようですが、インターネットや書籍等で調べたり、様々な人に実際に尋ねたりしながらプランを作り上げ、見事に受賞となりました。実は栗原さんのプレゼンには、心理学科の授業で学んだ質問紙作成ツールを用いて調査した結果が盛り込まれていました。自らのアイデアにしっかりと根拠を示し、説得力あるプレゼンを行うことができたことは、心理学科生の強みに違いありません。

心理学もビジネスも、ともに社会課題を解決し、よりよい社会を作りたい気持ちは同じです。少しでも興味を持った皆さん、心理学を活かしながら、何かチャレンジしてみませんか?

心理学科 准教授 大杉 朱美

タイの研修員を招き、さくらサイエンスプログラムを実施！

海洋生物科学科では、科学技術振興機構 国際青少年サイエンス交流事業「令和4年度さくらサイエンスプログラム(SSP)」に採択されて、タイ王国の2大学から学生と教員を招へいしました。その概要を紹介します。

タイ南部にある国立大学プリンスオブソンクラ大学(PSU)から学生9名と教員1名、ラジャモンコン工科大学スリビジャヤ校(RUTS)から学生2名と教員1名、合計13名を招へいました。受け入れ期間は令和5年2月14日～20日の7日間です。2月14日にバンコクから福岡空港に到着して、新幹線で福山まで移動し、福山駅前で宿泊しました。15日は学長・学部長表敬、16日は内海生物資源研究所を訪問しました。内海生物資源研究所では、研修員によるポスター発表会(写真1)と本学学生による所内の案内や研究紹介など、学生同士の活発な交流が印象的でした。17・18日は講義、研究発表会、修了式(写真2)と立て続けの忙しいスケジュールでした。19日は広島市の広島平和記念資料館と厳島神社で研修したのち、福岡市内で宿泊し、最終日の20日には福岡空港からバンコクへ向けて帰路につきました。

タイの研修員にとっても、また本学の学生・教職員にとっても忙しく短い7日間でしたが、記憶に残る素晴らしい経験ができました。新型コロナウイルスの感染が懸念される一番寒い時期にもかかわらず、感染者もなく無事に終了しました。これからも本学の国際化のために、SSPを活用して多くの海外の優秀な学生・教員を招へいして、教育研究の国際化を推進しま

す。

海洋生物科学科 教授 伊丹 利明

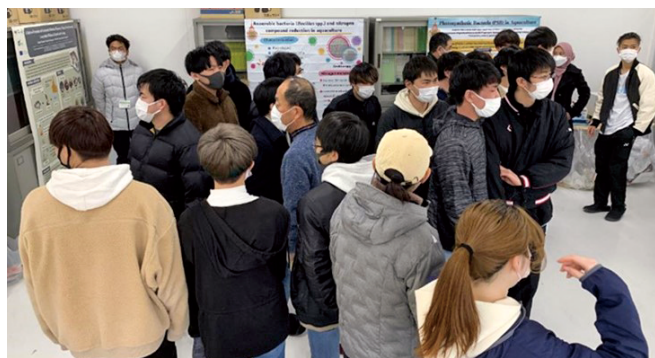


写真1: 内海研での学術発表交流会の様子



写真2: 修了証書を受け取って一息ついた研修員の皆さん

令和4年度 日本化学会中国四国支部 支部長賞を受賞！



薬学部には、クスリや病気に関連することを様々な角度から研究する20の研究室があります。薬学科の学生は、3年次後期から各研究室に配属され、クスリや病気に関する様々な問題

点などを研究テーマとした課題研究に取り組めます。研究課題は1年次から、講義や実習をとおして学んだ様々な知識・技能を総合して、課題研究について、自分で考え、実験し、その結果を評価し、指導教員とディスカッションすることで、さらに知識・技術を身につけます。そして、その成果を発表するためのプレゼンテーションをする能力を養います。

今回は、令和4年度「日本化学会中国四国支部 支部長賞」を受賞した横山 千展さんを紹介합니다。この賞は、化学の授業・実験ならびに研究をとおして優れた成績をあげた学生に授与される名誉ある賞です。横山さんが所属する医薬品化学研究室では、町支 臣成 教授と西山 卓志 講師の指導のもと、天然物から見出される新規化合物に対して有機合成化学をそのツールとして使った全合成研究を行い、治療に有効と思われる新しいクスリの種(シーズ)の発見をめざして日々研究を行っています。そのなかで横山さんの課題研究テーマは、古くから民間薬として病気の治療に使用されている植物の成分である「Evollionine Aの全合成研究」を展開しました。横山さんは、天然物を含めて数種類の誘導体の合成に成功し、新しいクスリの開発を目的に抗腫瘍活性評価試験を行いました。その研究成果が高く評価され、今回の受賞につながりました。今回の受賞は、日頃の学生たちの研究努力が実った結果です。これからも薬学生が様々な「新しい発見」にチャレンジしていってくれることを期待しています。

薬学科 講師 西山 卓志

研 究 活 動

2023年度 科学研究費助成事業

★研究種目

◎研究代表者氏名・所属・職名・(研究期間)
研究課題・(2023年度交付金額)

★基盤研究B

- ◎洞ヶ瀬 真人 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
環境汚染と映像の詩学—公害に向き合った映像の記録と表現についての研究 (240万円)

★基盤研究C

- ◎北浦 孝 経済学部 教授 (2020年～2023年度)
ドーピング規制薬物に関する高次学術的解析と応用 (70万円)
- ◎張 楓 経済学部 教授 (2022年～2025年度)
近現代日本における分散型生産組織の類型的把握：ラジコン模型航空機産業を事例に (90万円)
- ◎小原 友行 人間文化学部 教授 (2021年～2023年度)
「国際平和文化創造力」を育成する「多文化間イシュー学習」の日米協働開発 (110万円)
- ◎青木 美保 人間文化学部 教授 (2020年～2024年度)
作家の文学形成と「地方同窓コミュニティ」の研究—井伏・高田と宮沢賢治の場合— (60万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授 (2021年～2023年度)
サイコパスなどのダークなパーソナリティ要因が隠匿情報検査に及ぼす影響 (60万円)
- ◎赤澤 淳子 人間文化学部 教授 (2021年～2023年度)
児童養護施設入所児童を対象とした子ども間の性暴力予防プログラムの開発と効果検証 (60万円)
- ◎松本 明生 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
相談利益に着目した学生相談への援助要請態度の向上を図る取り組みに関する研究 (30万円)
- ◎宮崎 由樹 人間文化学部 准教授 (2023年～2026年度)
衛生マスク着用顔の非人間的認知 (70万円)
- ◎金平 希 人間文化学部 講師 (2022年～2025年度)
母子の情緒交流支援をみずえた実証的アセスメント法の開発：発達障害児と母親への応用 (60万円)
- ◎仲嶋 一 工学部 教授 (2020年～2023年度)
ベッド端マイクにより生成する音源分布の時系列変化をAI入力とする要介護者行動推定
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- ◎佐藤 圭一 工学部 教授 (2020年～2024年度)
蘭草栽培を通じた備後表の生産・流通・設計・施工プロセスの解明 (70万円)
- ◎都祭 弘幸 工学部 教授 (2021年～2023年度)
高せん断応力度比RC造梁の損傷制御法に関する実験研究 (50万円)
- ◎山之上 卓 工学部 教授 (2021年～2023年度)
WikiとBotを使ったIoTシステムの管理運営の負担軽減に関する研究 (60万円)
- ◎佐々木伸子 工学部 准教授 (2019年～2023年度)
発達障害児支援に向けた小学校普通教室の構造化のニーズと可能性
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- ◎池岡 宏 工学部 准教授 (2021年～2023年度)
可視光から近赤外光域における波長分散とBPF絞りをを用いたアオリ撮像による距離推定 (70万円)
- ◎中東 潤 工学部 准教授 (2022年～2024年度)
水素新機能による生体・医療用チタン合金のナノ組織化と歯科補綴物への応用 (60万円)
- ◎山本 一貴 工学部 講師 (2019年～2023年度)
20世紀前半のドイツにみる近代化における新しい郷土像の追求に関する研究
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- ◎佐藤 淳 生命工学部 教授 (2022年～2026年度)
糞中DNAから哺乳類の食性を解明する基盤の確立 (100万円)
- ◎吉崎 隆之 生命工学部 准教授 (2022年～2025年度)
酵母による赤ワインの色調増強に関わる技術基盤の確立 (90万円)
- ◎田中 憲司 生命工学部 准教授 (2023年～2025年度)
瀬戸内海の藻場生態系を維持する流れ藻の役割 (120万円)
- ◎竹田 修三 薬学部 教授 (2021年～2023年度)
環境化学物質の新たな毒性指標：脂肪酸2位水酸化酵素FA2H誘導とその意義 (120万円)
- ◎今 重之 薬学部 教授 (2023年～2025年度)
自己免疫疾患におけるトロンビン切断型ネフロネクチンと受容体との相互作用の機能解明 (140万円)
- ◎小川祥二郎 薬学部 准教授 (2021年～2023年度)
LC/MS分析の利便性を大幅に向上させる多機能誘導体化試薬の開発と実用性評価 (70万円)
- ◎松岡 浩史 薬学部 准教授 (2021年～2023年度)
動脈硬化抑制に関わる核内受容体の制御ネットワークの解明と創薬応用 (90万円)
- ◎渡邊 正知 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
虚血再灌流障害に対する低体温誘導SUMO化修飾を介した血液脳関門保護機構の解明 (150万円)
- ◎前原 昭次 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
COVID-19治療薬を目指した薬用植物エンドファイト培養エキス中の抗SARS-CoV-2活性物質 (80万円)
- ◎大西 正俊 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
脳出血後のキヌレニン経路の変動と抑うつ発症の関連性 (80万円)
- ◎木平 孝高 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
腎虚血灌流におけるグルタチオン分解酵素を介したアポトーシス制御の役割 (120万円)

- ◎白川 真 薬学部 講師 (2022年～2024年度)
BNCT用ホウ素薬剤BPAの溶解度向上による治療効果改善を目指した製剤学的研究 (120万円)
- ◎本田真知子 薬学部 助手 (2023年～2025年度)
非アルコール性脂肪肝疾患における細胞外基質ネフロネクチンとその翻訳後修飾の役割 (110万円)

★若手研究

- ◎関下 弘樹 経済学部 准教授 (2021年～2023年度)
アウトカム(成果)志向の公共サービスで創出された価値の測定フレームワークの構築 (60万円)
- ◎白 映晃 経済学部 講師 (2022年～2024年度)
地方企業とグローバル・バリューチェーンに関する実証研究 (40万円)
- ◎佐野 穂先 経済学部 講師 (2021年～2023年度)
グローバル化による生産要素の移動が労働市場に与える影響の理論的研究 (30万円)
- ◎枝廣 和憲 人間文化学部 准教授 (2021年～2024年度)
Good Behaviorチケットを用いた学校と家庭をつなぐ支援プログラムの開発 (70万円)
- ◎洞ヶ瀬真人 人間文化学部 准教授 (2019年～2023年度)
水俣病の「記録」と映像表現—社会・自然・メディア環境との非言語的対話について
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- ◎古内絵里子 人間文化学部 講師 (2022年～2024年度)
東アジア都城の形態と支配構造に関する比較研究—中国北朝・朝鮮半島・日本の都城から (50万円)
- ◎中野 美奈 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
長時間瞑想に頼らない職場のマインドフルネス・オンラインプログラム (50万円)
- ◎森 朱美 人間文化学部 准教授 (2021年～2024年度)
犯罪捜査のためのポリグラフ検査におけるアーチファクト検出システムの開発 (50万円)
- ◎安藤 孟梓 人間文化学部 講師 (2023年～2025年度)
性的少数者に対する認知行動的アプローチの効果検証 (160万円)
- ◎山本 知里 生命工学部 講師 (2021年～2023年度)
ハンドウイルカにおける他者との類似性を好む心の検討 (120万円)
- ◎高山 健人 薬学部 講師 (2021年～2023年度)
腸管免疫応答から紐解く漢方薬と腸内細菌叢のクロストーク (100万円)
- ◎柴田 紗知 薬学部 講師 (2021年～2023年度)
関節リウマチとそれに伴う各種臓器損傷へ作用する食品・栄養成分の探索 (110万円)

★研究活動スタート支援

- ◎森 朱美 人間文化学部 准教授 (2019年～2023年度)
犯罪捜査のための隠匿情報検査における犯行時の覚醒の効果：自律系指標を用いて
<最終年度補助事業期間延長中> (0円)
- ◎濱本 有希 人間文化学部 助手 (2022年～2023年度)
犯罪常習者に対するポリグラフ検査手法の開発 (110万円)
- ◎志摩亜季保 薬学部 助教 (2021年～2023年度)
コレステロールを介した細胞接着の転写調節メカニズムの解明
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)

★特別研究員奨励費

- ◎新田 祥子 グリーンサイエンス研究センター 特別研究員(RPD)
(2023年～2024年度)
免疫賦活剤の長期的デリバリーを可能とするバイオベースポリマー由来ナノ粒子の創製 (110万円)

令和4年度 福山大学の科研費採択件数が県内私大トップに！

大学教員にとって日頃の研究を支える重要な財源の一つが、日本学術振興会による科学研究費補助金(略称は科研費)です。その令和4年度の配分状況が文部科学省より公表され、本学が広島県内の私立大学の中で、研究費の採択件数において、第1位という結果になりました。

科研費は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究(研究者の自由な発想に基づく研究)」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。

また、専門分野の近い複数の研究者による、ピア・レビュー

による評価を経て、独創的・先駆的な研究に対しその配分が決定されています。

令和4年度に本学で科研費を申請することが可能な教員は185名、申請件数は111件、申請率は60.0%でした。

今年度の科研費獲得の好結果は、これまでの弛まぬ努力が目に見える形で実を結んだものであると言えます。

今後も少々の順位の変動に一喜一憂せず、さらに魅力的な研究テーマに地道に取り組んで参ります。

総務部 庶務課

学 内 人 事

【法人役員】

◎重任
理事長 鈴木 省三
副理事長・常務理事 尾崎 史郎
(以上5月26日付)

◎就任
副理事長 富士 彰夫
(5月26日付)
監事 山本 昭人
(5月24日付)

◎辞任
監事 安保 昇
(5月23日付)

【教員】

◎名誉教授称号授与
前 工学部 教授 宮内 克之
前 生命工学部 教授 秦野 琢之
(以上4月1日付)

◎就任(役職関係)
副学長 鶴田 泰人
工学部長 梅國 章
大学院経済学研究科長 野村 宗訓
大学院薬学研究科長 今 重之
経済学部長補佐 平田 宏二
経済学部長補佐 早川 達二
人間文化学部部長補佐 田中 始男
工学部長補佐 香川 直己
経済学部国際経済学科長 上林 篤幸
経済学部税務会計学科長 荒木 利雄
人間文化学部人間文化学科長 小原 友行
人間文化学部心理学科長 山崎 理央
工学部建築学科長 都祭 弘幸
工学部機械システム工学科長 加藤 昌彦
生命工学部生命栄養科学科長 菊田 安至
全学自己点検評価委員会委員長 山本 覚
全学自己点検評価委員会副委員長 田中 始男
全学自己点検評価委員会自己点検評価実施委員会委員長 満谷 淳
長期ビジョン委員会副委員長 田中 始男
I R室長 鶴田 泰人
大学教育センター長 太田 健吾
内海生物資源研究所長 倉掛 昌裕
教職課程委員会委員長(教職支援室長) 池岡 宏
広報委員会委員長 山岸 幸正
広報委員会副委員長 松岡 浩史
松永駅前活性化プロジェクト委員会委員長 鶴田 泰人
(以上4月1日付)

◎退任(役職関係)
工学部長 加藤 昌彦
経済学部長補佐 足立 浩一
工学部長補佐 梅國 章
大学院経済学研究科長 早川 達二
大学院薬学研究科長 町支 臣成
経済学部国際経済学科長 足立 浩一
経済学部税務会計学科長 白木 康晴
人間文化学部心理学科長 赤澤 淳子
工学部建築学科長 梅國 章
工学部機械システム工学科長 木村 純壮
生命工学部生命栄養科学科長 石井 香代
全学自己点検評価委員会委員長 大塚 豊
全学自己点検評価委員会副委員長 山本 覚
全学自己点検評価委員会評価小委員会委員長 大塚 豊
全学自己点検評価委員会自己点検評価実施小委員会委員長 田中 始男
全学自己点検評価委員会点検評価項目策定小委員会委員長 山本 覚
長期ビジョン委員会副委員長, I R室長 有瀧 真人
内海生物資源研究所長 竹盛 浩二
教職課程委員会委員長(教職支援室長)

広報委員会委員長 安田 暁
広報委員会副委員長 池岡 宏
広報委員会副委員長 中道 上
(以上3月31日付)

◎定年退職
経済学部 教授 小林 正和
工学部 教授 内田 博志
生命工学部 教授 久富 泰資
大学教育センター 教授 地主 弘幸
(以上3月31日付)

◎退職
経済学部 助教 長濱 照美
経済学部 助教 櫻木 規美
人間文化学部 准教授 脇 忠幸
人間文化学部 講師 丸山 友美
人間文化学部 講師 福留 広太
人間文化学部 助手 高野 裕太
(以上3月31日付)

◎再雇用期間満了
工学部 教授 宮内 克之
工学部 准教授 新谷 敏朗
生命工学部 教授 秦野 琢之
(以上3月31日付)

◎昇任
経済学部 准教授 中村 和裕
人間文化学部 准教授 大杉 朱美
工学部 教授 菅原 聡
工学部 教授 池岡 宏
大学教育センター 准教授 津田 将行
大学教育センター 講師 Tang Warren
(以上4月1日付)

◎兼任
(兼)大学教育センター 教授 小原 友行
(兼)大学教育センター 教授 北浦 孝
(兼)大学教育センター 教授 倉掛 昌裕
(兼)大学教育センター 准教授 松岡 浩史
(兼)共同利用センター 講師 記谷 康之
(兼)共同利用センター 助手 高 千穂
(兼)社会連携センター 准教授 五郎 丸剛
(兼)社会連携センター 准教授 中 和裕
(兼)内海生物資源研究所 教授 有瀧 真人
(兼)安全安心防災教育研究センター 教授 香川 直己
(兼)安全安心防災教育研究センター 教授 池岡 宏
(兼)安全安心防災教育研究センター 准教授 津田 将行

(兼)I R室 教授 山本 覚
(兼)I R室 准教授 木平 孝高
(兼)I R室 講師 記谷 康之
(兼)I R室 助教 天満 誠也
(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 井上 裕文

(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 秦 季之
(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 竹田 修三

(兼)備後圏域経済・文化研究センター 教授 中嶋 健明
(兼)備後圏域経済・文化研究センター 准教授 中村 和裕
(以上4月1日付)

◎免兼任
(兼)社会連携センター 教授 高村 克美
(兼)社会連携センター 教授 張 楓
(兼)内海生物資源研究所 教授 太田 健吾
(兼)安全安心防災教育研究センター 准教授 関田 隆一

(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 佐藤 雄己
(兼)グリーンサイエンス研究センター 准教授 渡邊 正知

(兼)グリーンサイエンス研究センター 准教授
坂根 洋
(以上3月31日付)

◎採用
経済学部 教授 平田 宏二
経済学部 教授 北浦 孝
経済学部 教授 野村 宗訓
経済学部 教授 荒木 利雄
経済学部 教授 飯田 哲也
経済学部 准教授 高山 和夫
経済学部 助教 崔 岨汀
人間文化学部 教授 中嶋 健明
人間文化学部 教授 小原 友行
人間文化学部 教授 竹村 信治
人間文化学部 教授 中島 学
人間文化学部 准教授 中野 美奈
人間文化学部 准教授 洞ヶ瀬 真人
人間文化学部 助手 柏原 由貴
工学部 准教授 関根 康史
工学部 准教授 今井 勝喜
工学部 准教授 中村 格芳
工学部 助教 天満 誠也
生命工学部 教授 田中 信一郎
生命工学部 准教授 西 彰子
生命工学部 助手 山本 沙也加
薬学部 教授 鶴田 泰人
薬学部 准教授 小川 祥二郎
薬学部 講師 柴田 紗知
薬学部 助教 番匠 谷研吾
薬学部 助手 高原 千穂
大学教育センター 講師 記谷 康之
大学教育センター 講師 松本 陵磨
(以上4月1日付)

◎再雇用
生命工学部 教授 久富 泰資
大学教育センター 教授 地主 弘幸
(以上4月1日付)

◎客員教授
経済学部 田中 秀征
経済学部 平山 亮
工学部 横井 一仁
工学部 長岡 正芳
薬学部 菅 奈奈美
薬学部 出石 啓治
(以上4月1日付)

◎特命講師
大学教育センター 向井 勝也
(4月1日付)

◎学校法人福山大学社会連携推進センター長
山口 昌宏
(4月1日付)

【職員】
◎定年退職
学務部副部長 山成 光俊
入試広報室参事 井上 明洋
総務部参事 武田 康成
内海生物資源研究所技術職員 得能 穰
(以上3月31日付)

◎退職
学務部長 武田 貢一
工学部・生命工学部事務室事務長 山崎 護
入試広報室入試企画主任 吉津 和輝
(以上3月31日付)

◎昇任
広報部長 高橋 和敬
学務部就職課上席課長 平 喜美
総務部庶務課長 佐久間 基
工学部・生命工学部事務室事務長 佐藤 理恵
学務部教務課長 岡田 祐侍
学務部学生課長 松田 基弘
学務部就職課長 楠見 宣昭
学務部国際交流課係長 神原 葉
総務部庶務課主任 富久 翔

経理部用度1課主任 中本 祐人
(兼)経理部用度2課主任
(以上4月1日付)

◎配置換
入試広報室長(副部長待遇) 斜森 琢也
(兼)学校法人福山大学入試広報室長
薬学部事務室事務長 小林 圭二郎
入試広報室事務統括参事 松岡 哲衛
(兼)学校法人福山大学入試広報室事務統括参事
薬学部事務室事務統括参事 皿谷 英敏
工学部・生命工学部事務室参事 寺尾 信吾
入試広報室主任 横山 達哉
(兼)学校法人福山大学入試広報室主任
経理部用度1課主任 安藤 拓人
(兼)経理部用度2課主任
学務部学生課主任 木村 友哉
学務部学生課主任 岡野 浩己
秘書室事務職員 佐古 佳奈美
(兼)学校法人福山大学秘書室事務職員
経済学部・人間文化学部事務室技能主任 村上 高士
工学部・生命工学部事務室技能主任 阪田 信広
(以上4月1日付)
学務部教務課係長 大迫 博美
(4月3日付)
学務部教務課参事 池本 大作
(5月16日付)

◎兼務
(兼)学務部長 大高 弘士
(兼)広報部事務職員 吉田 明菜
(兼)経理部用度1課職員 記谷 康之
(以上4月1日付)

◎免兼務
(兼)総務部長 大高 弘士
(兼)学校法人福山大学入試広報室長, 松岡 哲衛
(兼)福山大学入試広報室長
(兼)総務部庶務課長 斜森 琢也
(兼)薬学部事務室事務長 皿谷 英敏
(兼)学務部教務課課長補佐 佐久間 基弥
(兼)学校法人福山大学入試広報室主任, 道上 真弥
(兼)福山大学入試広報室主任
(兼)経理部用度2課事務職員 中本 祐人
(以上3月31日付)

◎採用
学校法人福山大学参与 岡崎 文憲
(兼)参事
学校法人福山大学特別参事 平山 亮
学校法人福山大学特別参事 藤野 肇之
事務局次長 矢崎 雅之
(兼)総務部長, (兼)総務部企画・文書課長
学務部副部長 山成 光俊
入試広報室統括参事 和田 照文
(兼)学校法人福山大学入試広報室統括参事
入試広報室参事 増井 誠徳
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事
入試広報室参事 児玉 英史
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事
入試広報室参事 藤本 寅肇
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事
総務部庶務課事務職員 田邊 詩歩
広報部事務職員 桃谷 実莉
(兼)総務部企画・文書課事務職員
総務部企画・文書課事務職員 濱田 由香
経済学部・人間文化学部事務室事務職員 井川 善亘
工学部・生命工学部事務室事務職員 金只 成世
薬学部事務室事務職員 川崎 麻奈美
内海生物資源研究所技術職員 得能 穰
学務部就職課事務職員 宇都 舞花
学務部国際交流課事務職員 前原 章子
附属図書館事務職員 山野 佳那
(以上4月1日付)

◎再雇用
学務部教務課参事 武田 康成
(4月1日付)

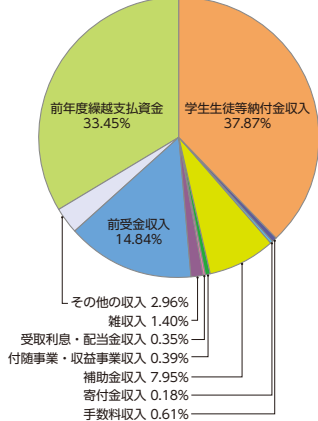
令和4年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書

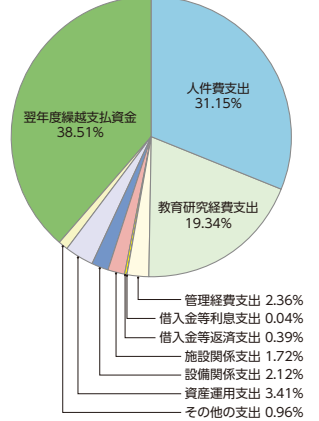
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,554,433,573	人件費支出	3,843,188,944
手数料収入	89,670,980	教育研究経費支出	2,385,940,827
寄付金収入	25,957,389	管理経費支出	291,144,466
補助金収入	1,166,520,469	借入金等利息支出	4,748,025
資産売却収入	400,000	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	57,601,236	施設関係支出	212,518,152
受取利息・配当金収入	51,732,760	設備関係支出	261,792,341
雑収入	204,774,983	資産運用支出	12,303,054,000
借入金等収入	0	その他の支出	2,588,540,333
前受金収入	2,176,217,900	資金支出調整勘定	△ 102,648,189
その他の収入	14,786,254,458		
資金収入調整勘定	△ 2,432,274,324		
前年度繰越支払資金	4,905,904,164	翌年度繰越支払資金	4,751,154,689
収入の部合計	26,587,193,588	支出の部合計	26,587,193,588

収入



支出



上記のグラフは次のとおり調整しています。

- ① 資金収入・資金支出調整勘定を除外
- ② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金、実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目
支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)(単位：円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,554,433,573
手数料	89,670,980
寄付金	22,179,189
経常費等補助金	1,151,520,469
付随事業収入	57,601,236
雑収入	204,776,983
教育活動収入計	7,080,182,430
事業活動支出の部	
人件費	3,794,413,228
教育研究経費	3,367,636,548
管理経費	355,386,781
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,517,436,557
教育活動収支差額	△ 437,254,127
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	53,890,863
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	53,890,863
事業活動支出の部	
借入金等利息	4,748,025
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	4,748,025
教育活動外収支差額	49,142,838
経常収支差額	△ 388,111,289
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	399,900
その他の特別収入	20,689,130
特別収入計	21,089,030
事業活動支出の部	
資産処分差額	8,606,799
その他の特別支出	0
特別支出計	8,606,799
特別収支差額	12,482,231
基本金組入前当年度収支差額	△ 375,629,058
基本金組入額合計	0
当年度収支差額	△ 375,629,058
前年度繰越収支差額	3,383,205,435
基本金取崩額	120,353,815
翌年度繰越収支差額	3,127,930,192
(参考)	
事業活動収入計	7,155,162,323
事業活動支出計	7,530,791,381

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

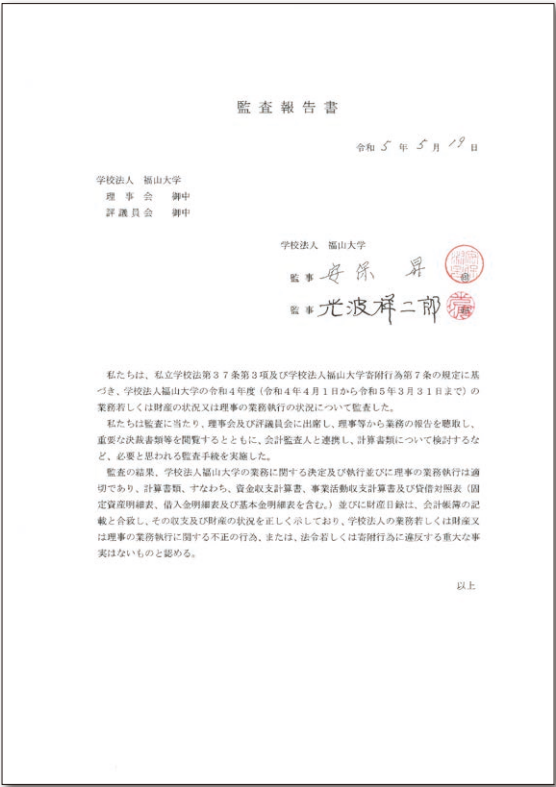
科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額(施設設備に係る寄付は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入(施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入
事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給付引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を除却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出
その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

貸借対照表		(令和5年3月31日) (単位：円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	57,662,248,469	固定負債	1,896,514,590
有形固定資産	30,872,898,010	長期借入金	168,270,000
土地	6,890,160,619	退職給与引当金	1,633,616,682
建物	15,727,992,717	長期未払金	94,627,908
構築物	821,000,544	流動負債	2,435,750,054
教育研究用機器備品	2,465,531,187	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	30,046,219	未払金	76,814,127
図書	4,908,476,718	前受金	2,176,217,900
車両	18,629,747	預り金	134,958,027
船舶	11,060,259	負債の部合計	4,332,264,644
建設仮勘定	0		
特定資産	26,752,768,763	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	2,000,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,633,616,682	基本金	55,233,881,114
減価償却引当特定資産	15,587,573,606	第1号基本金	52,745,881,114
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第2号基本金	2,000,000,000
創設準備引当特定資産	4,105,820,499	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,581,696	繰越収支差額	3,127,930,192
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	3,127,930,192
施設利用権	600	純資産の部合計	58,361,811,306
保証金	33,316,670		
敷金	216,000	負債及び純資産の部合計	62,694,075,950
流動資産	5,031,827,481		
現金預金	4,751,154,689		
未収入金	163,797,597		
有価証券	81,363,520		
前払金	35,511,675		
仮払金	0		
資産の部合計	62,694,075,950		

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録		(令和5年3月31日) (単位：円)	
一 資産額		30,872,898,010	
1. 基本財産			
土地	338,143 m ²		6,890,160,619
建物	152,467 m ²		15,727,992,717
構築物			821,000,544
教育研究用機器備品	4,704 点		2,465,531,187
管理用機器備品	203 点		30,046,219
図書	454,482 冊		4,908,476,718
車両	31 台		18,629,747
船舶	2 艇		11,060,259
建設仮勘定			0
2. 運用財産			31,821,177,940
現金預金			4,751,154,689
第2号基本金引当特定資産			2,000,000,000
退職給与引当特定資産			1,633,616,682
減価償却引当特定資産			15,587,573,606
校舎建設等引当特定資産			3,425,757,976
創設準備引当特定資産			4,105,820,499
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,316,670
敷金			216,000
未収入金			163,797,597
有価証券			81,363,520
前払金			35,511,675
仮払金			0
資産総額			62,694,075,950
二 負債額			
1. 固定負債			1,896,514,590
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		168,270,000
退職給与引当金			1,633,616,682
長期未払金			94,627,908
2. 流動負債			2,435,750,054
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		47,760,000
未払金			76,814,127
前受金			2,176,217,900
預り金			134,958,027
負債総額			4,332,264,644
正味財産(資産総額－負債総額)		58,361,811,306	



古江嘉弘先生の ご逝去を悼んで



古江先生は、京都大学工学研究科を卒業後、同大学の助手、講師を経て平成元年に同大学の助教授に就任されました。その間、建築音響関係の研究を行い、日本建築学会計画系論文集、日本音響学会講演論文集等に発表されています。

福山大学には平成8年4月に工学部建築学科の教授として着任され、平成12年4月に建築学科の学科長、平成16年4月に評議員、平成17年4月の工学部長を歴任しました。教育面では、建築環境工学関係の授業と教育を担当され、平成23年3月に退職されるまで熱心に学生指導に当たられ、また、温厚な人柄であるため多くの学生に慕われておりました。

今回古江先生のご逝去に接し、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

工学部建築学科 教授 大島 秀明



笠井先生を偲ぶ



平成元年、私は工学部の教員募集の話を聞き福山大学を訪れました。しかし専門分野の違いで当時経営情報学科長をしておられた笠井保先生に話が回り、翌年赴任させていただきました。笠井先生は実直を絵に描いたような方でしたが、性格からか、街中の迷惑行為などに目をつぶれないようで、「危なすぎます」と部下から叱られることもありましたが、しかし学生からは慕われ、32人というゼミ希望者をそのままを受け入れるという学生思いの記録保持者でもありました。両大学の経営情報学科を軌道に乗せられたのち、福山大学に移られましたが、退職後趣味のお城めぐりの途中で寄られていたことを思い出します。笠井先生のご冥福を心よりお祈り致します。

福山平成大学 経営学部 経営学科 福井 正康



令和6（2024）年度 入学者選抜の概要

令和6（2024）年度入学者選抜の日程は次のとおりです。
その他、指定校推薦型選抜を実施しています。

◆入学者選抜日程

種別	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜(一般) 第Ⅰ期	(エントリーシート提出期間) 令和5(2023)年 8月 9日(水)～ 8月 21日(月) (必着)	令和5(2023)年 10月17日(火)	令和5(2023)年 11月 1日(水)
総合型選抜(一般) 第Ⅱ期	(エントリーシート提出期間) 令和5(2023)年 9月27日(水)～10月 4日(水) (必着)	令和5(2023)年 11月24日(金)	令和5(2023)年 12月 2日(土)
公募推薦型選抜 A日程 《試験日自由選択制》	令和5(2023)年11月 1日(水)～11月 8日(水) (消印有効)	令和5(2023)年 11月14日(火) 令和5(2023)年 11月15日(水)	令和5(2023)年 12月 1日(金)
公募推薦型選抜 B日程	令和5(2023)年11月21日(火)～12月 6日(水) (必着)	令和5(2023)年 12月 9日(土)	令和5(2023)年 12月13日(水)
一般選抜 前期 A 日程 《試験日自由選択制》	令和6(2024)年 1月 5日(金)～ 1月 24日(水) (消印有効)	令和6(2024)年 1月31日(水) 令和6(2024)年 2月 1日(木) 令和6(2024)年 2月 2日(金) 令和6(2024)年 2月 3日(土)	令和6(2024)年 2月 7日(水)
一般選抜 前期 B 日程	令和6(2024)年 2月 5日(月)～ 2月 15日(木) (消印有効)	令和6(2024)年 2月21日(水)	令和6(2024)年 2月24日(土)
一般選抜 後期 日程	令和6(2024)年 2月22日(木)～ 3月 5日(火) (消印有効)	令和6(2024)年 3月 9日(土)	令和6(2024)年 3月13日(水)
大学入学共通テスト 利用選抜 前期	令和6(2024)年 1月 5日(金)～ 1月 24日(水) (消印有効)	個別学力試験は課しません	令和6(2024)年 2月 9日(金)
大学入学共通テスト 利用選抜 後期	令和6(2024)年 2月22日(木)～ 3月 5日(火) (消印有効)	個別学力試験は課しません	令和6(2024)年 3月13日(水)

※《試験日自由選択制》とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◇入学金減免制度について◇

福山大学及び福山平成大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度を実施しています。

同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学及び福山平成大学の卒業生又は在学生(留学生は除きます)のことです。

◇入学検定料、入学金及び授業料に関する支援措置について◇

本学では、地震・豪雨等により災害救助法が適用された地域において被災された方に対して、申請に基づき、公募推薦型選抜・一般選抜の受験生に対する入学検定料、入学金及び授業料に関する特別措置を行っております。

詳しくは、入試広報室にお問い合わせください。(TEL：084-936-0521，e-mail：kouhou@fukuyama-u.ac.jp)